



Tanabe East Rotary Club in 2018-19

2018-19年度RI会長：ハリー・ラン

第2640地区ガバナー：樫畑 直尚

田辺東ロータリークラブ

創立：昭和49年5月15日

会長：武田 静也

幹事：野村 憲司



例会場/事務所：田辺市下屋敷町81-10

きのくに信用金庫田辺支店3F

Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008

http://tanabe-east-rc.com/

E-mail info@tanabe-east-rc.com

例会：毎週水曜日 12:30～

ビジターフィー ¥2,000

○会長報告 会長 武田 静也



■本日のお客様は、白浜ロータリークラブに在籍の有限会社 井戸豊店 代表取締役 井戸 宏和（いどひろかず）様です。後ほど宜しくお願い致します。

■4月6日(土) けやきONE401に於いて「第5回ガバナー補佐・幹事予定者会議」が開催されます。次期ガバナー補佐として、私 武田が出席して参ります。

■串本RCより例会変更のご案内を頂いております。

4月9日(火)午後6時半～、古座川町高池の霊巖寺参拝となっております。

4月8日(月)に、釈迦(しゃか)が誕生した日を祝う「花まつり」があり、4月8日(月)から14日(日)まで地獄絵図や熊野曼陀羅(まんだら)図版木などの寺宝を開帳されます。小原征雄住職が地獄絵図の絵解き法話をしてくださいます。(毎年大変ありがたいお話が聞けます。)期間中、小原住職の妻、ほづ美さんのパッチワーク作品展もあります。

メイキャップ大歓迎ですので(ご家族もご一緒にどうぞ)ご都合つきましたら是非ご一緒にと、山本会長からの伝言です。

(メイキャップ希望の場合は前日までにご連絡頂けたらと思います。)

○幹事報告 副会長 森本 修至



◎3月21日(木・祝) イーストクラブ ゴルフコンペ
橋本隆、畑地誠、小山實、西谷貞彦、緒方雅男、佐田一三、坂本正人

■回覧

◎公益社団法人 白浜・田辺青年会議所より
「JCニュース3月号」

◎南方熊楠顕彰会より
「熊楠ワークス 第53号の送付について(ご案内)」
「熊楠ワークス 第53号」
「第29回 南方熊楠賞 授賞式 日時：5月11日(土)」
「世界遺産 鬮鷄神社 創建千六百年記念シンポジウム 日時：4月21日(日)」

◎国際ロータリー日本事務局 業務推進・資料室より
「2019年4月 母子の健康月間 リソースのご案内」
「2019年4月 Rotary Shopをご活用ください」
「Rotary Shopのご案内」

◎樫畑ガバナー事務所より
「ガバナー月信4月号」
「青少年交換長期派遣学生募集のご案内」
「2019-20長期募集案内」「青少年交換ポスター」
「仮申請書」

◎中野ガバナーエレクト事務所より
「2019-2020年度予算(案)の修正について」

■例会日時変更

◎串本RC

4月 2日(火) → 4月 5日(金)12:30～

行事：橋杭岩清掃

<串本ライオンズクラブとの共同事業>

4月 9日(火) → 4月 9日(火)18:30～

行事：霊巖寺参拝(古座川町高池)

<夜間移動例会>

4月30日(火) → 休会

4月28日(日) → 自由参加

<日米修交記念館>

◎海南西RC

4月 4日(木) → 4月 6日(土)19:00～

場所：ふじ白庵 侘楓にて <花見例会>

4月25日(木) → 休会

■メークアップ

◎3月28日(木) 田辺RC

岡本博(地区IT委員会)

■回覧

◎中野ガバナーエレクト事務所より

「収支予算書一覧表」

◎久保パストガバナーより

「R I 第2640地区の不名誉な真実 (3)」

■連絡

◎ロータリーの友4月号が届いています。

各自トレーに入れてあります。

○ゲスト・ビジター

有限会社 井戸豊店

代表取締役 井戸 宏和 様

(白浜RC在籍) (いど ひろかず)



○本日の唱歌

「君が代」「さくら」

唱歌委員 玉置佳範 君



○出席報告

会員数41名 義務免除 7名 本日の欠席者6名
本日出席率 80.00% 3月13日の修正出席率 92.11%

○にこにこ報告 (敬称略)

◇(有)井戸豊店 代表取締役 井戸宏和様をお迎えして。
愛須勝章、泉房次朗、上原俊宏、岡本博、
木村壽一、小山實、後藤信博、武田静也、
竹村英一、谷本司、玉置佳範、西谷貞彦、
橋本隆、本田耕二、丸山博之、山本亘、
早稲田清司、渡口眞二

◇本日、非公式理事会につき、例会終了後に、理事・
役員の方はお残り下さい。 中嶋伸和

◇本人誕生日 阪本邦夫、谷中順次郎

◇奥様誕生日 片井貢、後藤信博、佐田一三

◇井戸っち、卓話ガンバッテ！ 竹中 悟

◇お花頂きます。 坂本正人

◇早退お詫びいたします。 森本副会長

☆皆様たくさんのニコニコありがとうございました。

○本日のプログラム

有限会社 井戸豊店

代表取締役 井戸 宏和 様

(いど ひろかず)

「紀州いぐさプロジェクト」



1. 背景

○会社概要

■本社 西牟婁郡白浜町798-2

■白浜店 西牟婁郡白浜町2512-17

■海南店 海南市阪井1429

■豊部門

日産最大320枚 (本社120枚、海南店200枚)

■襖・建具部門

日産最大75枚 (本社25枚、海南店50枚)

■総従業員数 15名 (男11名/女4名)

けんさんびん登録 登録番号：H28-1592

登録年月日：平成29年2月2日

○自己紹介

- ・西牟婁郡白浜町瀬戸出身
- ・昭和15年創業の豊店3代目長男
- ・趣味特技 音楽(楽器演奏・製作)マリンスポーツ
- ・平成11年6月より、豊店の構造改革実施店舗として経営革新を行い現在に至る。

四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか

○地域の課題

一地域の課題に対するとらえ方について

- ・ニュースや世間話と、自身の実感。
- ・行政の施策＝課題解決のため

企業が活力を持って活動することが地域課題解決の一助になると同時に、地域課題の解決を並行することが社会的意義を高める。

2. 目的

○地域の改善、当社の役割

- ・いぐさという農作物を一から学ぶことで、今以上に強固な販売基盤を構築することを目指す。
 - 一スタッフ研修、セールスへの説得力、オンライン事業所
- ・農業全般について学び、商工業者目線での地域の課題解決を模索する。
 - 一耕作放棄地問題、農産物の流通課題、ビジネスとしての魅力、雇用への考え方、労働の付加価値について
- ・地域特産品を育て、新しい価値を創造し、観光事業に寄与する。
 - 一体験型リゾート、魅力ある商品づくり、海外インバウンド客への対応



3. 開発

○開発の経過、トピック

一1年目

- ・あえて農薬、肥料を行わない。
- ・加工場もなく今後の田圃増加の見込みもなかった。
- ・豊店の繁忙期と農繁期が重なることが判明。
- ・台風直撃

一2年目

- ・寺田が参画。
- ・作業人員を大幅に増加
- ・指導者との情報共有の難しさ
- ・熊本の収量と比較し約55%の取れ高（うち人的ミス20%）
- ・広告宣伝によるプロジェクトの周知
- ・1年に一度の作物の難しさ

一3年目

- ・寺田が主たる農業を担当。
- ・朝日新聞掲載をきっかけに圃場の貸出を申し受け。
- ・その縁から、しらとり養猪豚施設を借り受け。（工事は次年度）
- ・地域の皆様の協力による苗割作業開始。
- ・短く育たいぐさの商品化を模索し、視察に回る。

一4年目

- ・加工施設を建設。
- ・豊としてようやく販売を開始。



そして、今お届けできるものが出来上がりました。

てしまい、いぐさが売れて赤
色にし、半粒ほどを摘み取
るを繰り返す。加
工場がなかったことや人手が
足りなかったことなどが関係
しています。収穫後のいぐさ
に水をかけた後、夜中に現場
へ走ったりと色々と手立を
行いましたが、うまくいきま
せんでした。
4年目には田んぼをお借り
した方からのご縁で白浜町の
協力を得て、近くの畜産施設
の借り受けを行うことができ
ました。改修にかかる費用は

4. 事業成果

○現在の事業状況及び商品化状況

- ・法人顧客へ小冊子の配布
- ・一般顧客に向けたご報告
- ・現在「和歌山県産いぐさを使用した独自ブランド商品の製造・販売」事業を開始
- ・「いぐさの香りを暮らしに」新ブランドの設立。
- ・白浜商工祭、田辺商工フェアでご覧ください。

5. 今後の展開

○今後の課題、目標

- ー世界に向けた取り組み（海外展示会への出展）
- ー関わってくださる方々への評価を高めるために
- ー今までとは逆のことをやってみる。

ファスト→スロー
理屈→感性
やさしく⇄きびしく
万人へ→必要な人へ

今後も精いっぱい取り組んでまいります！
ありがとうございました♪



和歌山県産いぐさを使った、几帳面な礼儀正しい、奥ゆかしいの中にしたかさくブレバも、個性性を感じます。だからこそ、いぐさや和歌山県産いぐさ、みかんなど、手間がかかる仕事を地道に続けることができ、それを全国に販売する力を持つたのだと思います。

そして、私たちは誇れる紀州の先人たちに敬意を払い、学びを得て、ここから紀州いぐさの歴史を一歩ずつつくり上げて参ります。

豊が満ちているとよくいわれます。それはほろでもない事業です。しかし私はそれでも構わないと思っています。少なくとも一歩進んで見られることもあります。意味のないもの、価値のないものは淘汰されるのが世の常です。



私は豊のある暮らしが本来の日本人がもつ気質を有て、日本人らしさをつくりあげてきたように思います。日本の文化である茶道や華道、武道など「道」がつくものには豊は使われず、縁を踏まないように歩み、正座をし、姿勢を正す儀礼には豊と張り詰めた空気とその意味があります。豊の目から見える豊の上で死にたい、など日本人ならよく耳にする慣用句があるように、豊は私たちの暮らしに深く馴染んでいるのではないのでしょうか。

今ではあまり語ることなくなった、日本人が大切にしてきた心の基準を、豊が言葉なく伝えてくれていると思います。豊がなくなくなると困るのは一体誰なのかと考えてみたらすぐに分かることです。私たちが豊業者だけではありません。

以前はとにかくたくさんのお客様に一枚でも多く豊を買っていただきたいと考えていました。しかし今は必要と感じてくださっている方に、必要なタイミングで、必要なだけの豊をお届け出来る体制を守り続けることが大切だと感じるようになりました。

このプロジェクトにご賛同いただいた皆様には感謝申し上げます。これから几帳面な仕事を進め、必要とされる企業であり続けられるよう邁進してまいります。

○編集後記 4-3ひしのみ

旧暦の2月15日は円位忌である。今年は3月21日が旧暦のそれに当たる。建久元（1190）年と云うから鎌倉時代が始まってすぐの頃73才で佐藤義清は河内の弘川寺で入滅した。紀ノ川沿いの田仲荘の管理者（預所に補任）の家系に生まれ、北面の武士としても活躍した西行法師が829年前に入寂したことから西行忌を円位忌ともいう。

ねがはくは はなのもとにて 春しなん そのきさらきの 望月の比
西行の云う花は山桜であるが、3月21日は彼岸の中日。今、彼岸の桜であるエドヒガンが我が世を桜花（謳歌）している。



四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか